

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

・4, 5 歳児は、ランチタイムを導入しており、子どもが自分のタイミングで遊びの切りをつけ食事にきていた。子どもが時間の管理をして、トング等で果物を取る姿から発達を踏まえ自分でできることは行い主体的に生活をしていると感じられた。保育者は、子どもの力を信じ援助をしていた。

・乳児用の園庭では、子どもたちが安心できる環境の中でのびのびと好きな場所で遊び、保育者は一緒に遊び、見守っていた。そのまなざしにあたたかさや愛を感じられた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

・3 歳児クラスでは、サークルタイムでお祭りごっこの振り返りをして保育者が子どもたちの思いや気づきを大切に受け止めていた。子どもが自分の意見を発言し、友達（他者）の異なる意見を聞くことは今後の子どもたちの成長に必要な取り組みであると感じられた。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

- ・保護者から同意書を得ている。
- ・保護者や子どものプライバシーの保護、知り得た事柄の秘密保持は徹底されている。
- ・保護者・来客が目にする場所に個人情報がわかるものはない。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

- ・苦情とご意見は職員会議で周知している。
- ・苦情解決責任者の園長が話をして相手の思いを聴き適切に対応している。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

- ・毎月、衛生委員会が行われ、周知されている。
- ・看護師が積極的に動き、感染症の拡大防止に努めている。
- ・感染症の情報は掲示で知らせ、複数の場合はコドモンの配信をしている。
- ・病気の情報はPDFで添付し注意喚起もコドモンで配信している。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

- ・毎月危機管理委員会が行われクラス1名出席し会議後周知される。
- ・散歩に行く時は、クラス名簿にチェックを入れて、その用紙を持参している。
- ・2歳児の活動を2グループに分かれる時には、マグネットでメンバーを確認し周知している。
- ・毎年水遊びやプール遊びの前にAEDの使い方と心肺蘇生法の勉強会を行っている。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

- ・修繕は自園で修理できることは主任が修繕し、業者に依頼する場合は、本部の施設担当者に相談をして早急に対応している。
- ・1歳児保育室の家具の一部の化粧板を貼るとよい箇所があった。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

- ・園内に綺麗な花が飾られ季節が感じられた。
- ・玄関や廊下の掃除が行き届き清潔感が感じられた。
- ・コーナー遊びが充実されおもちゃもきれいに整頓されていた。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

- ・各クラス年齢に適したコーナー遊びが充実され、子どもが遊びを選びじっと遊びこんでいる印象を受けた。
- ・0～1歳児クラスでは、手先を使った遊びと粗大遊びがあり、室内でも静と動の遊びができる環境であった。
- ・4・5歳児クラスは互いの保育室に自由に行き来ができ、子どもたちが自然に異年齢で関わる姿がみられた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをするを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・ 一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・ 共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

・ 0,1 歳児クラスでは、少人数で食事をしており一人ひとりのペースに合わせて時間の確保がされ保育者は個々に応じた介助をしていた。また、子どもたちも安心感の中で食事をしていた。

・ 5 歳児クラスでは、朝の集まりにてその日にやりたいこと等の確認をして 1 日の流れ（戸外に出られる時間やランチタイムの確認等）を伝え、子どもが自分で自分の生活を組み立てるようにしている。また、保育者が子どもの言葉に耳を傾けながら自由に発言できる場としていた。

【全体を通して】

- ・法人講師による構成論の学びを職員が継続していることもあり、年齢を踏まえた環境構成や保育が行われていると感じられた。また、幼児クラスは、こども会議の中で自分の意見を発する機会があり、子どもたちで創り出す保育をしていると感じられた。
- ・園長と主任の関係も良好で、共通理解がされていた。
- ・業務改善委員が中心となり自分たちの園が働きやすい職場となるように時間を上手に使い工夫をされていた。職員一人ひとりが自分たちの園を良くしようと意識されていた。今後長く職員が勤められる園となることに期待する。

評価日 2023年 11月 28日

評価者 園名 聖隷こども園桜ヶ丘

役職 園長

氏名 太田康子